

## 第7回 コミュニケーション教育研究会 議事録

日時：平成 19 年 12 月 13 日（木） 16:40-18:10

場所：湘北短期大学 1 号館 128 教室

参加者：藤沢高校 住谷先生；茅ヶ崎高校 三橋先生；有馬高校 宮地先生；  
湘北短期大学 岩崎、小野目、伊藤、小棹（敬称略）

配布物：

1. 第6回コミュニケーション教育研究会議事録
2. 生徒向け：高大接続教育プログラム「コミュニケーションリテラシー」参加のお願い（案）
3. 教員宛：高大接続教育プログラム「コミュニケーションリテラシー」参加のお願い（案）
4. 学校長宛：高大接続教育プログラム「コミュニケーションリテラシー」参加のお願い（案）
5. 「コミュニケーションリテラシー」プログラム内容

内容：

1. 接続教育プログラムの実施詳細検討

- 全 12 講、各講 90 分単位とする。
- 実施日時を変更した。
  - ・ 最終日の発表プレゼンテーションを高大連携協議会で公開する。

2 月 15 日（1-3 回）、2 月 16 日（4-6 回）

2 月 28 日（7-9 回）、

3 月 12 日（10-12 回）

2. 配布物 2-4 の生徒向け、教員あて、学校長あて文書の検討を行い、送付文を決定した。

- 案内文は 3 種（添付資料参照）
  - 生徒向け：高大連携対象生徒数は 150 人になる。
    - 全員を対象とすることはできないので、定員を設ける。
  - 保護者宛か、生徒本人宛とするかを検討した。
    - 生徒本人あてとし、案内文は 1 枚程度とし、詳細は担当の高校教員に相談の上決定させることとした。
    - 教員が生徒の動向を把握できる。
- 高校教員の講師料は不要（茶菓程度が適当）
- 高校教員は学校長の指示があれば研修や出張することができる。
  - 学長名で文書を出して欲しい。
- 高大連携プログラムへの協力（派遣）依頼とする。
- 広報面のバックアップが必要。CATV 等で広く宣伝する。平成 20 年度にフォーラムを開催する。生徒に対しては個別に案内文を送付する。
- 交通案内等を同封する。
- 実施後の検証を行ってほしい。

## 授業計画

回	日時	担当者	テーマ	内容	特記事項
1	2月15日	小棹	ガイダンス	大学と高校での取り扱い	Edy等の利用
				教員紹介、大学内設備・施設の利用法	Active Mail!の利用、アカウントの設定
2	2月15日	小棹	コミュニケーションの手段とE-mail		本学OA教室の利用
				Active Mailの使い方、ビジネスメールの書き方	
3	2月15日	伊藤	コミュニケーションの基本-話す技術		471教室
				良い話し方	
				声の出し方、話し方	
4	2月16日	伊藤	コミュニケーションの基本-書く技術		471教室
				良い文章の書き方	
5	2月16日	小棹	インフォマティクス		図書館
				図書館の利用-新聞記事等の検索	
				盗用と引用:知的財産権、商標	
6	2月16日	小棹	Excelの活用とデータベースとしての利用		OA教室
				Excelの基本の確認	
				データベースとしての利用	
7 8	2月28日	小棹	問題の発見		OA教室
				問題の設定	
				問題の分析 - Excelの応用	
				情報の整理、図表化 - Excelの応用	
9	2月28日	湘北教員	情報の分析と問題解決(1) グループワーク		OA または471教室
		*	発散技法(発想法)		
10 11	3月12日	湘北教員	情報の分析と問題解決(2) グループワーク		OAまたは128教室
		*	収束技法または構造化、案の評価		
12	3月12日	湘北教員	まとめと発表		OAまたは128教室
		*	Office群を用いたグループ発表		
			発表の評価		
			グループメンバーの寄与度評価		

\* グループワークで高校生のご指導に高校教員のご協力をお願いいたします。

以上